

【評価基準】 ○：現状と同等 △：現状より低下する

項目	手法等	①移転建て替え (移転先にて新築)		②現地建て替え		③減築＋耐震補強		④減築＋耐震補強		⑤減築＋耐震補強		⑥耐震補強	
		・工事中は既存庁舎を利用 ・低層棟:撤去⇒仮駐車場設置 (重要設備移設)		・高層棟:9F以上減築 ＋耐震補強 ＋大規模改修 (居ぬき) ・低層棟:撤去		・高層棟:7F以上減築 ＋耐震補強 ＋大規模改修 (居ぬき) ・低層棟:耐震補強 ＋大規模改修		・高層棟:8F以上減築 ＋耐震補強 ＋大規模改修 (居ぬき) ・低層棟:撤去 ＋設備棟新設		・高層棟:耐震補強(居ながら) ・低層棟:撤去 ＋設備棟新設			
工事中の 市民サービス・利便性	■工事期間:約2年 ■仮設庁舎を使用しないため市民サービス、利便性は現状どおり	○	■工事期間:約4年 ■仮設庁舎を使用しないため市民サービス、利便性は現状どおり ■低層棟設備を高層棟に一時的に移設するため、耐震性能が低下する	△	■工事期間:約2.5年 ■仮設庁舎を使用するため市民サービス、防災上の安全性が低下する ■仮設庁舎が分散しているため、来庁者の利便性が低下する	△	■工事期間:約2.5年 ■仮設庁舎を使用するため市民サービス、防災上の安全性が低下する ■仮設庁舎が分散しているため、来庁者の利便性が低下する	△	■工事期間:約2.5年 ■仮設庁舎を使用するため市民サービス、防災上の安全性が低下する ■仮設庁舎が分散しているため、来庁者の利便性が低下する	△	■工事期間:約2.2年 ■仮設庁舎を使用しないため市民サービス、利便性は現状どおり ■居ながら工事のため、騒音や振動等により、庁内環境が悪化する	△	
	■現状どおり (駐車台数189台) ◇現在の駐車場をそのまま使用	○	■駐車台数は減少する (駐車台数144台) ◇現状の75%程度 ◇新庁舎を建設するため、第1駐車場が使用できない ◇低層棟跡地を仮駐車場として使用	△	■駐車台数は減少する (駐車台数84台) ◇現状の45%程度 ◇仮設庁舎を建設するため、第1・2・3駐車場の一部が使用できない ◇低層棟跡地を仮駐車場として使用	△	■駐車台数は減少する (駐車台数44台) ◇現状の25%程度 ◇仮設庁舎を建設するため、第1・2・3駐車場の一部が使用できない	△	■駐車台数は減少する (駐車台数84台) ◇現状の45%程度 ◇仮設庁舎を建設するため、第1・2・3駐車場の一部が使用できない ◇低層棟跡地を仮駐車場として使用	△	■現状どおり (駐車台数189台) ◇現在の駐車場をそのまま使用 ◇工事ヤード分の駐車台数は減少する可能性がある	○	

※1 仮設庁舎は、第1、2、3駐車場及び周辺施設に設置する。

※2 上記以外の項目は、候補間に有意差が無いため、評価から外している。